



「竹矢ポンプ場ポンプ井増設」 平成13年(2003年)～16年(2006年)

竹矢ポンプ場は、島根県水道用水供給事業（飯梨川水道）からの受水を受けるため、昭和43年から実施した第8次拡張事業の一環として整備した。

その後、昭和48年の大渇水を経験し、飯梨川総合開発事業として建設した山佐ダムを水源に島根県水道用水供給事業（飯梨川水道）拡張事業に松江市として日量25,000 m^3 の受水を確保。

第10次拡張事業として受水関連施設の整備を行った。

日量35,000 m^3 の受水量に対し、ポンプ井の容量は1,478 m^3 の確保に止まり、水運用上の課題となっていたことから、容量を確保するため、ポンプ井（SUS1,500 m^3 ）並びにポンプ2台（9号・10号）を増設した。

尾原ダムの建設が遅れる中、これにより市内の安定給水を確保する体制が整った。